



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 *Rotary: Making a Difference*

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榊岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2017年7月26日 第2299回例会 VOL. 49 No. 4

- 司 会 SAA 五十嵐 正
- 開会点鐘 会 長 滝澤 亮
- 齊 唱 それでこそロータリー
友達になろう
- S L 北澤 正浩

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	28名
本日の出席率	100%	修正出席率	96%

■本日の欠席者

なし

■ゲスト

古谷 康司様 (神奈川県立旭高等学校校長)
塩 麻理奈さん (2017-18 青少年交換学生)

■皆出席者表彰



五十嵐 正会員 24年
新川 尚会員 14年

■会長報告

本日は本年度第4回目の例会であります。早いもので1ヶ月が過ぎようとしております。あと11ヶ月よろしくご協力の程お願い致します。先週に梅雨が明けたばかりですが、暑い日が続いております。皆様、熱中症には特にご注意ください。お過ごし下さい。

来週はガバナー公式訪問であります。ガバナー、ガバナー補佐共に11時にはおいでになれる予定です。遅刻のないようにご出席お願い致します。

本日は昨年に続き県立旭高校の古谷校長先生に学校をあげて、どのような取り組みをしているかなどについてお話いただけたと思います。

○地区関係

1) 九州北部豪雨被災地支援に御協力の依頼
一人1000円程度、8/10迄

2) 第5グループ会長・幹事会

日時 7月27日(木)

場所 新横浜国際ホテル

出席 滝澤、田川

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜あざみロータリークラブ

日時 8月9日(水)移動例会

点鐘 12時30分

場所 あざみ野 四季花りん

日時 8月16日(水)休会

○横浜緑ロータリークラブ

日時 8月16日(水)休会

日時 8月30日(水)移動例会

点鐘 午後6時30分

場所 あかべこ市ヶ尾店 TEL 050-3491-1261

○横浜旭ロータリークラブ

日時 8月16日(水)休会

日時 8月30日(水)夜間移動例会

場所 仕立屋

・鈴木茂之さん、目黒恵一さん、宋謹衣さんの歓送迎会を合わせて行います。

・当日2,000円を収集させていただきます。

2) 2590地区より地区研修、協議会報告書が発行されております。内容については各委員の方は再度見分して、活動にお役立ていただきますよう、お願いします。

■クラブ広報・公共イメージ向上委員長会議報告 内田 敏

斉藤委員長の代理で出席して参りました。

始めに地区副幹事より地区役員、委員、各グループガバナー補佐の紹介があり、続いて湯川ガバナーの挨拶がありました。挨拶で、ポリオ撲滅運動に継続的な奉仕活動を通じて地域にロータリーのイメージアップを図るように、又、今回の九州北部豪雨災害に支援募金をお願いしたい旨の話がありました。

8月2日のガバナー公式訪問時、ガバナーは背広で伺いますが、皆さんはクールビズでどうぞ、と言う事でした。

大塚地区広報公共イメージ向上委員長より「新ホームページとロータリー印刷物の決まり」についての話がありました。内容につきましては国際ロータリー第2590地区ホームページをご覧ください。

元ロータリーの友編集長二神さんの「ロータリーの広報」というテーマでの講演がありました。

①正しいロゴの使用方法

ロゴの大きさ

13mm×20mm→4倍 52mm×80mm

色の正しい使用方法

ロゴマークはゴールド色

②クラブのホームページには宗教団体のような感じを受けるから奉仕活動という言葉は使用しないほうが良い、私たちの活動という言葉が良いのでは？

③写真の活用、ビデオの活用等

以上のお話がありました。

最後に地区からのお知らせで、来年2月10日にマラソン大会を実施致します。

■社会奉仕委員会 北澤 正浩

九州北部豪雨被災地支援の為の義援金にご協力をお願い致します。

■横浜旭ジャズまつりについて 北澤 正浩

7月30日(日)に開催されます旭ジャズまつりには、今年もロータリー席を用意いたしますので、是非ご来場下さい！



■前幹事より 北澤 正浩

前年度の活動報告書の提出を再度お願い致します。

■兵藤会員より

厚生労働省健康局結核感染症課よりの報告です。

○重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) に係る注

意喚起について

発熱、衰弱等に加え血小板減少の所見が見られた飼育ネコ及び犬の血液、糞便から SFTS ウイルスが検出された事例並びに体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトが SFTS を発症し死亡した事例が確認されました。

これらの事例は稀ではありますが、発症したネコやイヌの体液からヒトが感染することも否定できないことから、SFTS の疑いのある患者を診察した場合には、ダニの刺咬歴に加え、動物との接触歴についても考慮していただくようお願いします。

■塩麻里奈さん、近況報告



こんにちは。台湾派遣予定の塩麻里奈です。今日、無事にスピーチを迎えることができとても嬉しく思います。

派遣が決まった去年の11月から今日まで本当にあつという間でした。

私が台湾に行ったら頑張りたい事はコミュニケーションをとるための言葉の習得です。日本のことを台湾の人に伝えるにしても、台湾の事を日本の人に伝えるにも、言葉ができなくてはどうにもなりません。最初はホストファミリー、近くにいる人たちとのコミュニケーションを大切にしていこうと思います。

この言葉の習得に関して目標にしたいのは、以前、同じく派遣学生としてフィンランドから来たエマです。エマは一生懸命、日本語を勉強しており、フィンランド語を忘れてしまったと聞かされた時は、本当にびっくりしまし

た。私も台湾に行ったら、日本語を忘れるくらい一生懸命勉強します。台湾のことをよく学び派遣生として日本のことを伝えるだけでなく、台湾のことをより多くの人に知ってもらいたいと思います。旅行ではなく派遣生として台湾のいいところをたくさん見て日本人たちに台湾のことを伝えていきたいです。

その他には、派遣先で色々な国からくる派遣生ともコミュニケーションをとり、考え方や価値観の違いを知り、相手を理解できるように努力したいです。

そしてロータリーの青少年交換プログラムという素晴らしいシステムについて多くのとに知ってもらえるよう、学校の友達、後輩にも伝えたいと思います。

旭ロータリークラブの皆様、本当にここまで見守り、助けていただきまして有難うございました。

一年後、皆さんの前で胸を張って報告できるように頑張ります。

■5分間情報

齋藤 善孝

研修委員会では今年度の活動計画書のとおり、世の中に貢献した人物を取り上げ、今月は二宮尊徳についてお話をさせていただきます。

小学校時代に二宮金次郎の伝記を読んだことがあります。50数年前の事で内容も忘れてしまいましたので、再度勉強したいと思い取り上げてみました。

尊徳の教えとはロータリアンにも勉強になると思いますので、再確認して頂ければ幸いです。

二宮尊徳は、天明7年7月23日(1787年)相模の国足柄上郡栢山村に生まれました。少年期に父母を失い災害で没落した家を独力で再興しました。

この体験をもとに荒廃した農村の復興を実践した江戸時代後期の農村指導者です。

明治16年、幸田露伴が少年向けに「二宮尊徳翁」を出して多く読まれ、内村鑑三が「代表的日本人」として尊徳を高く評価することで、二宮尊徳の名前、そして至誠・勤勉の思想は広く知られるようになりました。

○尊徳の教え

至誠

全てのものに良い結果を与える理念として「まごころをもって事にあたる」事を尊徳は教えている。人に対して才知や弁活は有効かもしれないが、鳥獣や草木を説くことはできない。至誠と実行は、米、麦、野菜、うり、なす、草木にまで繁栄を及ぼす重要な教えであると説いている。

勤労

大きな目標に向かって行動を起こすことにしても小さなことから怠らず、つつましく勤めなければならないということ。「今まく木の実、後の大木ぞ」という有名な尊徳の言葉が残されています。

分度

「分度」とは適量・適度のこと。分度をしっかり定めないと、困窮してしまうし、暮らし向きも楽にならない。家計でも仕事でも現状の自分にとってどう生き、どう行うべきかを知るということが大切だということです。

推譲

「推譲」とは、肉親、知己、郷土、国のためあらゆる方面において、譲る心を持つべきであるという考え。分度をわきまえ少しでも他者に譲れば周囲も自分も豊かになるものだという教えです。

積小為大

大事を成さんと欲する者はまず小事を務べし。大事を成さんと欲して小事を怠り、その成り難きを憂いて、成りやすきを務めざる者は、小人の常なり。それ小を積みば大となる。

一円融合

すべてのものは相互に働き合い、一体となって良い結果を生み出す。

- ・ 道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である。
- ・ 経済と道徳の融合を訴え、私利私欲に走るのではなく社会に貢献すればいずれ自らに還元されると説く。

以上の事は我々にも当てはまる教えで、日常の生活様式の中で再確認にしていきたいと思

います。

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

滝澤 亮／本日は神奈川県立旭高校古谷校長先生を迎えて、有難うございます。青少年交換学生の塩麻里奈様、ようこそ。台湾でのご活躍をお祈りしております。

田川 富男／①九州北部豪雨に支援いただきましてありがとうございます。②旭高校古屋校長様、旭 RC によろこそ。③塩さん、例会出席有難う。

宋 謹衣／いよいよ今年のサマーミーティングは来週日曜日 7/30 に開催します。今回、台湾から 15 名来るそうです。楽しみにしています。

目黒 恵一／久しぶりに平野さんにお会いして感動感激です！！（前事務の女性です）

福村 正／兵藤先生、新川さん、左近山商店街にお越しいたき有難うございます。年々盛り上がりしておりますので今後とも宜しくお願いします。

兵藤 哲夫／旭高校古屋校長先生、塩麻里奈さん、ようこそ。

本山 雄三／旭高校古屋校長先生、ようこそいらっしゃいました。よろしくお祈りします。

佐藤 真吾／旭高校古谷校長先生、塩さん、旭ロータリークラブへよろこそ。

太田 勝典／旭高校古谷校長先生、本日はご苦労様です。

内田 敏／古谷先生の本日の卓話よろしくお祈りいたします。

二宮麻理子／古谷様、本日の卓話よろしくお祈りいたします。

岡田 清七／古谷康司校長、旭ロータリーの卓話においでいただき、有難うございます。

大川 伸一／古谷校長様、暑い中をお越しいたきましてありがとうございます。卓話をよろしくお祈りいたします。

青木 邦弘／古谷校長先生よろこそ！塩さん、いよいよ 8/16 出発することになりました。

吉原 則光／古谷校長先生、天候不順のところおこし下され有り難うございます。最近の高校生の活躍の情報を楽しみにしております。

よろしくお願いします。

倉本 宏昭／旭高校校長古谷先生、お忙しい折、ようこそおいで下さいました。本日は宜しくお願いします。

安藤 公一／古谷校長先生、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話宜しくお願い致します。塩さん、台湾で楽しく色々なことを学んでください。

市川 慎二／旭高校校長古谷様、本日の卓話宜しくお願い致します。明日から14名の旭高校生が来園し、実習となります。楽しみです。

新川 尚／①県立旭高校古谷校長ようこそ。②皆出席祝いをありがとうございます。

北澤 正浩／①神奈川県立旭高等学校校長古谷様、本日は卓話よろしくお願い致します。②いよいよ今度の日曜日に旭ジャズまつりが開催されます。ぜひご来場下さい。

五十嵐 正／皆出席祝いをいただきました。有難うございます。お陰様で連続24年になります。

■卓話

「未来の為の教育と旭高校の取組」

古谷 康司



1) 国の動き

○新学習指導要領（現中学1年生から）

：育てたい資質・能力

生きて働く知識、技能

未知の状況にも対応できる思考力、

判断力、表現力

学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力、人間性等

○高大接続改革（現中学3年生から）

：センター試験が大学入学共通テストに変わ

る

国語、数学で記述問題、
英語で4技能（聞く、話す、読む、書く）
の評価

○どのように学ぶか

：主体的、対話的な深い学び

【旭高校の学び】

・グランドデザイン

信頼される人

実行できる人

学び続ける人の育成

・身につけさせたい力を考える力とし、授業改善に取り組んでいる。

・社会においてリーダーとなるべく、ボランティア活動にも力を入れる。

2) 神奈川県立高校改革

・I期計画は平成28年度に発表

29年度から随時実施、今後II期、

III期を発表

・再編、統合等、少子化社会における適正な規模

・質の高い教育の充実インクルーシブ教育

障がいのあるなしにかかわらず、できるだけ地域の学校、通常の学校、高校で学ぶしくみづくり→パイロット校3校

・学校経営力の向上

コミュニティ・スクール

学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、地域とともにある学校づくりを進める→学校運営協議会

【旭高校の学校運営協議会】

・応援団になって下さい（頼れるメンバー）

旭ロータリークラブ前会長、幼稚園長、

小学校長、中学校長、国立大学教授、

私立大学入試企画課長、川井地域連合会長、

地域福祉施設所長、PTA会長、

・具体的な話をする二つの部会

①教育活動性部会

学校外の力を借りて課題解決等のアイデアを話し合う。

②地域連携部会地域との協働を促進するためのアイデアを話し合う

3) 旭高校の取組

【ボランティア活動】

- ・学習サロン
都岡中学区の子どもの学習支援
(毎月1回、長期休業中は複数回)
- ・劇団あさひ
旭警察との連携で、寸劇をわかりやすく、
小学生に万引き防止、高齢者に振込詐欺防
止の意識を高めるための活動
- ・きずなブック
津波で本を流された気仙沼の学校に、旭高
校近隣の小中学校の協力で本を贈る活動
- ・ビリーブ
川井地域ケアプラザが取り持つ三つ境養護
学校との交流
- ・旭カップ
サッカー部員とバスケットボール部員が運
営する中学生との交流
- ・少年サッカー
サッカー部員が運営する小学生との交流
- ・地域貢献活動
通学路及び近隣の福祉施設内の清掃活動、
福祉施設での演奏会、
夏祭りでのダンス発表及び運営補助

【ボランティア活動の課題】

- ・組織化
担当教員が声をかけて活動が保たれている
現状から、生徒が主体的に活動内容を決め、
中心となる生徒が新たなボランティアを集め
られる組織が必要。
- ・参加者拡大
運動部は練習を休んでまで参加しにくく、
軽音楽以外の文化部は人数が少ない。又、
積極的なのは上級生だが、3年生は進路対
策で参加しにくくなる。部に所属していな
い1,2年生の参加者を増やさないとこれま
での活動が維持できない。
- ・安全
部活動や生徒会役員を中心にボランティア
が行われていたのは、顧問が引率できるか
らで、生徒だけの派遣は安全面での不安が
残る。

・費用

学校の金銭面的な援助は限られており、サッ
カー部の気仙沼支援はバス代がさらに高く
なったこともあり、今年度は行わない。

【ボランティア活動の今後】

- ・期待する人間像
授業における考える力、部活動や学校行事
を通しての行動力ボランティア活動を通し
ての他者への思いやりの育成など、旭高校
の学びから社会に貢献できるリーダーとな
る。
- ・地域連携
生徒が中心となって実現する地域とともに
ある学校を目指す。
- ・国際理解
韓国の高校生の一身体験を受け入れたとき
に本校生徒の国際理解への意識は高まった。
台湾の高校との交流も視野に入れ、まずは、
近くの国の文化を知ることによって他者への思い
やりを深める。

4) インターアクトクラブ

- ①平成29年1/29の総会(横浜桐蔭大学)に
本校生徒3名が協議に参加
- ②平成29年5月ロータリークラブの担当者が
総会に参加した生徒の1名に説明したこと
で関心を深めるが発足にはいたらず。

【学んだこと、気づいたこと】

- ・私学の高校が積極的に活動するなど、他校
の活動内容を知ることができた。
- ・台湾へのボランティア派遣の発表では国に
よって考え方が違うのがわかった。
- ・資金面での支援があり、台湾への派遣も可
能である。
- ・県立高校では出来る事に限界がある。
現状の活動は十分評価される。

【旭高校が参加するために】

- ・組織化及び参加者の拡大

■次週の卓話

8/9(水) 会員増強フォーラム

細山勝三郎様

(地区拡大増強委員、川崎中RC)

週報担当 本山 雄三